



公益財団法人 戸部真紀財団

平成28年度 奨学生募集要項

日本と世界の将来を担う
志ある学生諸君の生活と希望を支える

平成28年度 奨学生募集要項 (公募)

1. 趣旨

公益財団法人 戸部眞紀財団(以下、本財団)は、日本国内で向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である学部学生及び大学院学生に対して、奨学金を給付することにより、将来に有意なる人材を育成することを目的とします。

2. 対象分野

化学、食品科学、芸術学、体育学、経営学

3. 応募資格

- [1] 日本の大学及び大学院で修学している者(国籍は問いません)
- [2] 学部学生(3年生・4年生)、修士課程、博士課程の者
- [3] 年齢が平成28年4月1日現在で30才以下であること
- [4] 化学、食品科学、芸術学、体育学、経営学の分野で修学している者
- [5] 向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者
- [6] 学資の支弁が困難と認められる者
- [7] 奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者
 - ◆ 給付対象期間(平成28年4月1日～平成29年3月31日)を通して在籍していること。
 - ◆ 分野は、在籍する学部・学科、研究科に関わらず、対象分野のいずれかに関連する研究をしている方であれば、どなたでも応募できます。分野別の過去の採用実績については下記ホームページをご参照ください。
<http://www.tobe-maki.or.jp/scholarship/>
 - ◆ 家計による応募制限はしていませんが、選考過程で審査の対象になります。
 - ◆ 海外からの留学生は私費留学の方に限ります。

4. 採用人員

40名

5. 奨学金の額と給付の方法

- [1] 給付金額
 - 月額 5万円(年額 60万円)
 - 但し、併給(返済義務なし)の場合は半額となります。
 - ◆ 他機関の奨学金受給中、又は受給予定でも応募できますが、併給不可の機関に申請中、または受給中の方はご応募をご遠慮ください。
 - ◆ 大学独自の奨学制度、学費の免除等は併給に該当しません。

[2] 給付の条件

当財団の奨学金は返済の義務はありません。

奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。

[3] 給付の期間

平成28年4月1日より平成29年3月31日までの1年間

(支給期間終了後、当該年度実績等を審査し、1年間に限度に継続を認める場合があります。)

[4] 給付の方法

奨学金は原則として、本年4月から4ヶ月分を7月に、以降は翌年2月まで、偶数月の一定日に2ヶ月分を直接本人に給付します。

(本人名義の銀行等の預金口座に入金します。)

6. 奨学金の休止、停止、又は廃止

本財団が適当でないと判断した場合は、給付の休止、停止又は廃止を行います。

7. 応募方法と手続き

[1] 提出書類

- ① 奨学生願書 (本財団指定用紙)
- ② 推薦状 (本財団指定用紙)
- ③ 在学証明書 (原本)
- ④ 成績証明書 (原本)
- ⑤ 住民票 (原本)
- ⑥ 他の奨学金(給付・貸与)の機関名、期間、金額等を証明する写し(有の場合)
- ⑦ 写真1枚 (横3.5cm×縦4.5cm、上半身正面脱帽、提出日より3ヶ月以内に撮影したもの。裏面に氏名を書き、願書に貼付のこと)

◆ 願書及び推薦状は、ホームページからダウンロードできます。

<http://www.tobe-maki.or.jp/scholarship/>

ワードファイルに直接入力したもの(但し、3ページ目以降はフォントを11ポイントとする)を印刷しても、

願書を印刷したものに手書きをしても、どちらでも可とします。ページ数の増減や様式の変更は認めません。

上記のルールが守られていない願書、及び書類不備(記入もれ等)は審査対象外といたします。

◆ 願書は日本語で記入してください。採用後の連絡もすべて日本語で行います。

◆ メールで連絡することがありますので、メールアドレスは正確に記載してください。メールが不通の場合は失格となる場合があります。

◆ 在学証明書は平成28年4月1日以降に取得した新学年の証明書を提出してください。

願書には平成28年度の学年を記入してください。

◆ 作成書類はA4用紙を使用し、片面印刷としてください。(ホッチキス禁止)

◆ 成績証明書は、学部学生は入学からの累計のものを、大学院学生は学部時代の累計の成績書に加えて

大学院の直近のものを提出してください。

◆ 住民票は、本人のみの記載で、本籍を省略したもので結構です。留学生は、国籍・続柄・在留資格の記載のあるものを提出してください。

◆ 芸術分野の方は参考資料の添付を可とします。(但し、A4用紙2～3枚程度)

◆ 採用決定後に前年度の世帯収入がわかる所得証明書を提出していただきます。

[2] 提出方法

本人が上記書類を揃えて、本財団宛郵送のこと。

[3] 提出期限

平成28年5月6日(金曜日)本財団必着

◆ 全ての書類が上記期限までに到着しない場合は審査対象外となります。

[4] 提出先(連絡先)

〒540-0021 大阪市中央区大手通三丁目2番21号

公益財団法人 戸部真紀財団 事務局

◆ 質問等がある場合はメールにてお問い合わせください。

その際、件名を「奨学金問合せ_大学_氏名」としてください。

Mail Address: Tobe-Zaidan@otsuka.jp

8. 奨学生の決定

[1] 採否結果発表… 7月上旬頃

[2] 奨学生の決定は、本財団の選考委員会の選考を経て理事長が行い、その結果を本人に通知します。

[3] 選考の経過及び決定の理由は公表しません。

9. 奨学生の義務

[1] 奨学生は、学期毎に成績証明書を、また平成29年3月末までに

活動報告書及び在学証明書を理事長宛に提出しなければなりません。

[2] 奨学生は奨学金の入金毎に奨学金受領書を提出しなければなりません。

[3] 奨学生は本財団が行う交流会に出席しなければなりません。

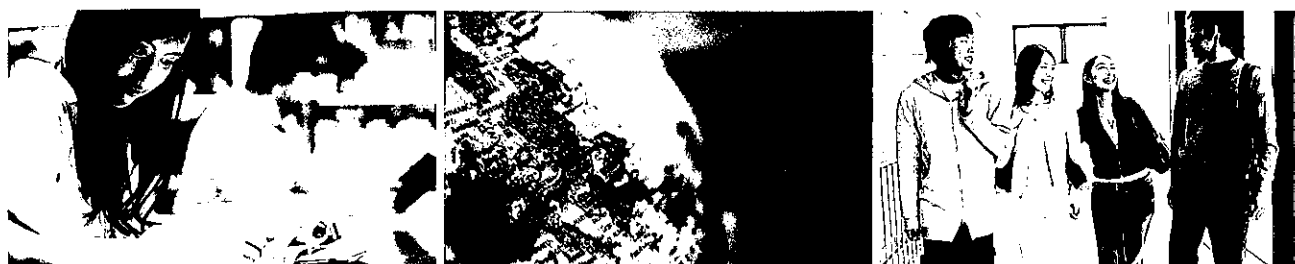
(平成28年度交流会開催予定日) 9月中下旬の1泊2日

平成27年度の交流会の様子はこちらからご覧いただけます。

<http://www.tobe-maki.or.jp/news/post13.html>

10. 個人情報の取扱いについて

奨学金の応募書類に記載された個人情報は、本制度のために利用され、その他の目的には利用されません。





出捐者 戸部眞紀 作

公益財団法人 戸部眞紀財団について

[出捐者・戸部眞紀プロフィール及び 財団設立の経緯]

戸部眞紀は、昭和14年9月18日、大塚グループ(現・大塚ホールディングス(株))二代目、大塚正士氏の長女として徳島県鳴門市で生まれ、青山学院高等部、早稲田大学(当時の第一商学部)を卒業後、大塚化学(株)に入社しました。芸術への造詣も深く、自身でも趣味として絵画、作詞、作曲などの創作活動を行い、「とべ たみ」のペンネームで数十点の作品を遺しました。

平成25年10月27日逝去(享年74歳)

生前、「近年わが国は少子高齢化が進み、経済の停滞化、アジア諸国の台頭による経済環境の変化が進んでいますが、若い有能な人材の育成はまだ十分なものではないと思います。このような状況に鑑み、大学、大学院で学ぶ有能な学生、留学生に対し、奨学助成することは有意義であるものと考えます。」と語り、遺言にて大塚ホールディングス(株)の株式を当財団設立に拠出しました。

[事業の目的]

当財団は、教育・研究機関の国際交流の促進、異文化間の国際交流の促進に関する助成、基礎教育及び文化芸術・科学教育をはじめとする教育諸活動への助成、支援及び奨学援護等を行い、もって、わが国の文化芸術及び科学技術の振興、さらには人材育成の促進に寄与することを目的とします。

[事業の内容]

1. 国内の大学及び大学院の国内学生に対する奨学金の支給
2. 外国からわが国の大学及び大学院に留学する学生に対する奨学金の支給
3. 奨学金の受給者に対する生活指導及び助言
4. 教育研究活動に対する助成
5. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

[財団の沿革]

- 平成25年12月6日 故戸部眞紀の遺言により、一般財団法人戸部眞紀財団として設立
- 平成26年4月 1日 事業開始(奨学生、及び研究助成金一期生の募集開始)
- 平成26年6月13日 新公益法人制度に基づく公益認定を受け、
公益財団法人 戸部眞紀財団に改称

役員・評議員

評議員	戸部 克信	理事長	戸部 貞信
評議員	藤関 勝宏	常務理事	戸部 渉
評議員	石見 利勝	理事	古川 武弘
評議員	小林 四郎	理事	武藤 芳照
評議員	黒田 泰弘	理事	野村 正朗
評議員	木村 俊作	理事	井上 亮一
評議員	竹内 定夫	理事	大高 保二郎
		監事	尾崎 三郎
		監事	中島 馨

公益財団法人 戸部眞紀財団

〒540-0021 大阪市中央区大手通三丁目2番21号

TEL: 06-6945-7239 FAX: 06-6943-8215

HP: www.tobe-maki.or.jp

Mail: Tobe-Zaidan@otsuka.jp

受付時間… 10:00 ~ 17:00 / 月~金(土日祝休み)

